

特別公開

稲吉老松神社菅公縁起絵展



昨年4月、稲吉区長が代々受け継ぐたんすから掛け軸が発見されました。

調査をしたところ、この掛け軸は江戸時代後期のものと考えられ、菅原道真の生涯や死後の怨霊としての姿などを描いた縁起絵であることがわかりました。保存状態が非常に良く、掛け軸の形の天神縁起(縁起絵)は福岡県下で3件目であったという珍しさから、新聞でも大きくとりあげられました。

今回、市民の皆さんから「ぜひ本物を見たい」という声を多くいただきましたので、特別展示をします。

- 会期 **12月5日(火)～25日(月)**
※12月18日(月)は休館
- 時間 午前10時～午後6時
※金曜日は8時まで開館
- 会場 野田宇太郎文学資料館(市立図書館内)
- 入館料 無料
- 問合せ先 文化財課 ☎75-7555

担当職員が展示解説をします！

- ①12月5日(火)／午後2時～2時45分
 - ②12月23日(土・祝)／午前11時～11時45分
- 解説者 稲村麻未(文化財課職員)

パネル展開催！

会期中は、稲吉老松神社(上岩田1374-1)でも、「掛け軸発見から展示まで」「縁起絵とは」「稲吉老松神社菅公縁起絵のこれから」などをまとめたパネルを展示しています。こちらもぜひご覧ください。